

令和元年度「嬉野市かがやき大学」第8回講演会

令和元年11月11日(月) 9:30~10:30

於： 嬉野市社会文化会館(リバティ)

講師 ウサイエン製薬株式会社 代表取締役 野中源一郎 氏

演題 「お茶の効用について」



演題「お茶の効用について」は、聴衆の方々も自身の健康に関心が高く、多数の来場者がありました。昨年度末のアンケート結果でも聴講を希望する領域では、「健康」が第1位でした。野中様の真摯で情熱溢れる語り口に聴衆の皆さんも惹きこまれ、これからの健康への留意点を漏らさないように聴かれているようでした。

現在の課題は、新聞やテレビのニュースからも、高齢化に伴う健康寿命や認知症、年金問題、高齢者の免許返納などがあります。特に、二人に一人が罹ると言われる「癌」や生活習慣病については、高齢者に限らず誰もが大きな不安を抱いていることです。

嬉野は古く昔から「お茶どころ」として全国的に知られ、現在も産地賞などの輝かしい賞を続いて受賞しているところです。市内各小中学校には給茶機が置かれ、子ども達も休み時間にお茶の楽しんでいる風景も微笑ましく見られます。また、お茶のインストラクターによるお茶の話やお茶の淹れ方講座も行われ、子ども達も親しんでいます。

野中様からお茶の「渋み」、「苦み」、「旨み」について、薬学の点から丁寧に説明していただき、聴衆の皆さんもなるほどと納得されているようでした。次に「お茶の効用」では、抗酸化作用、抗菌作用、虫歯防止、水虫防止、ピロリ菌やインフルエンザ菌抑制、臭い消し、コレステロール低下など、研究成果等をもとに数々の効果について説明をしていただきました。日本人の長寿の要因のひとつとも推測されます。

また、中国雲南省やベトナム、ミャンマー、ラオスのお話には、興味津々の表情で聴かれていました。野生種のお茶の木の写真では、巨木に梯子をかけて茶摘みをする事には驚きました。同じお茶でも気候と土地の違いで大きく異なるものでした。